

# 6・23 「慰霊の日」京都のつどい



6月23日は、日本で唯一地上戦が繰り広げられ、全住民の3人に1人、165,000人以上が犠牲となった「沖縄戦」において大日本帝国陸軍等の組織的戦闘終結日として、沖縄県では「慰霊の日」＝県独自の休日とし、県主催の慰霊祭が開かれます。そしてそれにあわせて、強制連行され亡くなった朝鮮人への慰霊式や、身元不明の遺骨を追悼する魂魄（こんぱく）の塔前での国際反戦集会・フェスティバルなどが取り組まれてきました。

私たちはこの「慰霊の日」を、4月28日の「屈辱の日」とあわせて、日本と沖縄の近現代史と戦後史を振り返り、「本土」に生きる私たちが、「国策」として強行されようとしている辺野古新基地建設と宮古島・石垣島・奄美大島などいわゆる「第1列島線」への自衛隊の配備・増強、ミサイル基地建設にどのように向き合うのか、「東アジアの平和」を実現していくためにどのような道筋が可能なのか、率直に意見を交わしたいと考えています。

6月7日投開票の沖縄県議選は、玉城県政与党が過半数ぎりぎりの「薄氷の勝利」を収めました。辺野古移設推進を掲げた自民党が議席を伸ばすなど、予断を許しません。

この間沖縄の人々は繰り返し「民意」を示し続けています。

問われているのは私たち「本土」に生活する者の「民意」です。

会場については「密閉」「密集」「密接」とはならないよう十分対応しますが、体調管理・感染防止対策も含めて無理のない範囲でのご参加をお待ちしています。

■日 時 2020年6月23日(火) 18:30～

■場 所 京都府部落解放センター（北区烏丸紫明）

■参加費 無料

◆主催 『No Base! 沖縄とつながる京都の会』 ◆協賛 『辺野古埋め立て反対京都実行委員会』

◆連絡先 090-4643-2940（増野）